

研修会報告

平成 31 年 2 月 19 日

文責：学術副部長 阿部 武彦

研修会テーマ「平成 30 年度認知症対応力向上講習会 B」(宮城県)

開催日時 平成 31 年 2 月 16 日 (土) 13:00 ~17:00

2 月 17 日 (日) 9:00 ~16:00

会場 坂総合病院 2 階 教育ステーション・セミナー室

司会 阿部 武彦

生涯教育点数 専門 30 点

参加者 会員 18 名 講師 2 名 計 20 名

講師：社会福祉法人 三井記念病院 臨床検査部 松熊 美千代技師

株式会社 LSI メディエンス 感染症検査部 渋谷 俊介技師

【カリキュラム】(500 分~600 分)

60 分 神経心理学的検査総論

~認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査~

ビデオ視聴 講師：国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長 櫻井孝

60 分 MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論 ビデオ視聴

講師：鳥取大学医学部教授 日本認知症予防学会理事長 浦上克哉

90 分 MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査の実習

30 分 ADAS 検査総論 ビデオ視聴

講師：鳥取大学医学部附属病院神経内科鳥取県基幹型認知症疾患医療センター

臨床心理士 浜田実央

60 分 ADAS 検査の実習

30 分 TDAS 検査総論 ビデオ視聴

講師：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座助教 河月稔

60 分 TDAS 検査の実習

60 分 その他の簡易スクリーニング検査総論~道路交通法改正もふまえて~ ビデオ視聴

講師：NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司

50 分 その他の簡易スクリーニング検査の実習

【内容】

研修会は日臨技が推進する事業の一環として「認知症診断にかかせない神経心理学的検査をより多くの臨床検査技師が担当できるようになること」を目的に開催した。研修会は 2 日間に渡り、定員 15 名の所、計 18 名が受講し神経心理学的検査総論のビデオ視聴やタブレット端末・検査用具を用いてグループ毎に患者役も体験しながら実習をした。参加者のほとんどが認知症検査は初めてであったが、講習が進んでいく中で認知症検査の意義と新たな職域としての可能性を感じ始め真剣に臨んでいる姿勢が印象的であった。アンケートでは『今後、業務指示があれば神経心理学的検査を担当できそうですか?』の問いに 6 名が「できそう」と答え、また『あなたは認定認知症領域検査技師の資格取得を目指しますか?』の問いには 10 名が「はい」と答えている。定期的な研修会の開催を要望する声も多かった。今後は、要望に応えるために定期的な研修会の開催、そして、認知症の地域医療に携われる人材育成に向けて認知症の当事者・サポート市民などと共に参加できる研修会を企画したい。 ※次ページにアンケートの集計結果を添付します。

平成30年度 認知症対応力向上講習会B

アンケート集計報告※記入は網掛け部のみ		講習会開催日	2月16日～17日	受講料	5000	円			
		アンケート集計提出日	2019年2月18日	修了者数	18	アンケート未提出者数	1		
		講師会名	宮城県臨床検査技師会	企画担当者名	松熊 美千代 渋谷 俊介	アンケート回収数	17		
1	講習を受けて全体としてどうでしたか？	よかった	よくなかった	どちらでもない	記入なし			合計	
		13	0	0	4			17	
2	受講料はどうでしたか？	妥当	高い	安い	記入なし			合計	
		12	1	0	4			17	
3	内容別の評価を5段階でお願いします	とてもよかった	よかった	普通だった	ものたりなかった	よくなかった	記入なし	合計	
	神経心理学的検査総論	8	6	2	0	0	1	17	
	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論	8	6	3	0	0	0	17	
	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査の実習	11	6	0	0	0	0	17	
	ADAS検査総論	10	4	3	0	0	0	17	
	ADAS検査の実習	13	4	0	0	0	0	17	
	TDAS検査総論	10	4	3	0	0	0	17	
	TDAS検査の実習	10	6	0	0	0	1	17	
	その他の簡易スクリーニング検査総論	8	4	3	0	0	2	17	
	その他の簡易スクリーニング検査の実習	9	5	2	0	0	1	17	
	実習方法	10	5	1	0	0	1	17	
	講習の進行方法	10	6	1	0	0	0	17	
	事前参加受付方法	10	4	2	0	0	1	17	
	開催案内方法	10	4	2	0	0	1	17	
	会場	6	8	2	0	0	1	17	
4	講習会の感想、意見、要望	<p>実際にHDS-R、MMSE、ADAS等を実習できた事が良かった。 興味レベルで参加しましたが、実際に参加して重要性を痛感しました。 実習が充実していて良かったです。 検査される側の気持ちも味わう事ができました。 受講前はその必要性をあまり感じていなかったが、受講し始めから認定認知症領域検査技師の今後の可能性を感じることができた。 定期的に講習会を開催してもらいたい。 認定が取れるような点数を受けるためには講習会受講を多数参加しないと無理なので、その点を考慮して便宜をはかって頂きたい。 開催地が限られているため多くの地方で行っていただきたい。 ビデオは会場の物をそのまま放映している。録音はカットすべき。</p>							
5	今後、業務指示があれば神経心理学的検査を担当できそうですか？	できそう	できない	まだわからない	記入なし			合計	
		6	0	11	0			17	
	(自動計算:構成比)⇒	35%	0%	65%	0%			100%	
6	あなたは認定認知症領域検査技師ですか？	はい	いいえ	記入なし				合計	
		3	14	0				17	
	(自動計算:構成比)⇒	18%	82%	0%				100%	
7	前問で「いいえ」と答えた方のみ7を回答ください あなたは認定認知症領域検査技師の資格取得を目指しますか？	はい	いいえ	まだわからない	記入なし			合計	
		10	1	3				14	
	(自動計算:構成比)⇒	71%	7%	21%	0%			100%	